コナどこ えほん

たこやきくんの はじめての おつかい



ちいさな やさしさが、みんなの えがおに。



あさの まちに、いい においい。
たこやきくんは、きょうも げんき。
「まいど！ きょうは おまつりや！」



「この かざりを、とどけてくれる？」

おこのみやきくんが、あかい つつみを わたします。

「まかせて！ はじめての おつかいや！」



かごを ゆらして、てくてく てくてく。
あたまの かつおぶしも、ひらひら ひらり。
「おまつり、たのしみやなあ。」



あれれ？ うさぎさんが、こまっています。
かざぐるまが、じめんに ちらばっていました。
「だいじょうぶ？ いっしょに ひろおう！」



ひとつ、ふたつ。あか、あお、みどり。
ふたりで ひろえば、あっというま。
「ありがとう！」「ええんやで！」



そのとき、ぴゅうっと かぜが ふきました。
きいろい かざぐるまが、えだの うえへ。
「あと ひとつやのに、どうしよう？」



「ぼくが ささえるから、ゆっくりな。」

うさぎさんは、ふみだいに のって……。

とれた！ ふたりで、にっこり。



ゆうやけの みちを、いっしょに てくてく。
「おそくなったけど、もう すぐや！」
ちょうちんの あかりが、みえてきました。



つつみを ひらくと、おほしさまの かざり！
かざぐるまも、くるくる くるり。
「とどけてくれて、ありがとう！」



「おつかいって、ええなあ。」
だれかを たすけると、こころも ぽかぽか。
たこやきくんの かつおぶしが、
うれしそうに、ひらりと おどりました。



おしまい

あしたも、えがおで。